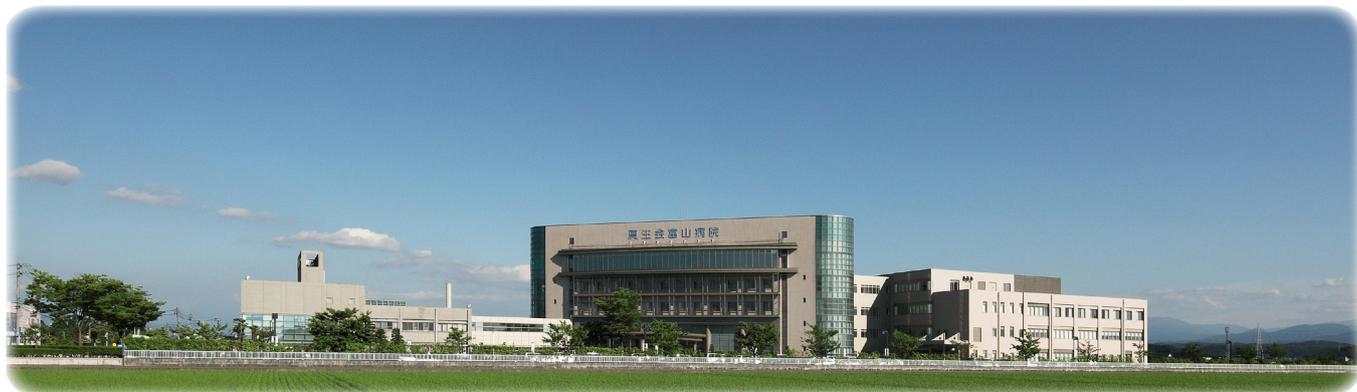


地域連携だより



新型コロナウイルスワクチン接種を振り返って

新型コロナウイルス感染の第 8 波も、ようやく収束の兆候が見えてきました。日本で最初の感染者が確認されてから 3 年が経ちました。

当初、有効な治療法がなく、多くの方が罹患され大変な状況となりました。その中で、非常に効果の高いファイザー・モデルナ製ワクチンが開発され、当院でも令和 3 年 3 月より接種を開始しました。この 2 年間で、延べ 41,500 件の接種をしてきました(令和 3 年 3 月～令和 5 年 1 月まで)。

開始直後は、「一人でも多く、一日も早く」を合い言葉に、各部署から係を募り、医療系スタッフも事務系スタッフも一丸となって対応しました。基礎疾患のある高齢者の方の、ワクチン接種後に安心されたお顔がとても印象的でした。

また、富山県立大学や、射水市の企業が実施する職域接種の応援も行い、射水市民をコロナ禍からお守りしたいと活動してきました。猛暑の中、ほとんど無休で 4 時間連続で接種し続けたこともありました。大変なことも多かったです。2 年間、職員が笑顔で接種を続けられたのは、「ワクチン接種が射水市民の命と健康を守ることになる」という気持ちがあったからこそだと思います。

専門家は、いずれ感染者が再増加すると推測しています。5 月中旬より、ワクチン接種が再開され、当院でも接種を行います。できる限り接種を受け、医療従事者としても、コロナウイルスに対して強い免疫を維持して診療に当たりたいと考えています。



副院長
ほんだ まさはる
本多 正治



ザンビア視察団との交流を終えて

1月19、20日に、アフリカのザンビア共和国（ルサカ州ルサカ郡）から視察団の受入れを行いました。JICA（国際協力機構）が推進する「ルサカ郡総合病院運営管理能力強化プロジェクト」の一環で、ルサカ州保健局の局長はじめ各部門の担当者と、5つの総合病院の院長が参加。医療サービスの質改善・病院運営管理能力の強化などを目的として、視察や医療従事者との意見交換を行いました。日本では当院の他に国立国際医療研究センター（東京）で研修を受けられました。

講義を務めた3名のスタッフに感想を聞きました。

●経営管理データの収集と活用（マンスリーレポート作成と経営の見える化）

なかがみ ゆう き
企画課・主任 中神 勇輝

医療機関は、一般の企業と異なり、経営状況はそこまでオープンになっていません。医療の質という言葉は聞きますが、経営の質という点で遅れやすい部分です。その点について、真生会で、どのように見える化を行い、経営の質を高めてきたか、ということについてお話ししました。

質疑応答の中で、ザンビアの公的病院には、多くの患者さんが来院すると聞きました。日本の比ではない様子です。その大変な状況下で、患者さんにより良い医療を提供したい、適切な対応をしていきたい、という思いが伝わってきました。患者さんに向き合う、という点で、医療に国境はない、ということを実感しました。

また、今回の講義の準備を通して自院の経営管理の未成熟な部分・課題も明らかになり、私たちにとっても貴重な機会となりました。



●在宅ケアの取り組み

なか い
訪問看護ステーションころころ・所長 中井 ともこ

私に与えられたテーマは「在宅ケアの取り組みについて」でした。母子保健を中心としたチームによる保健活動を知り、訪問看護ステーションの活動と重なる部分があるのではと思いました。また、住み慣れた地域で暮らし続けることは誰しもの願いではと考え、今までの取り組みについて現状のまま伝えました。多くの積極的な質問からも母国をよくしたいという熱意を強く感じました。訪問看護の介入タイミング、退院困難患者の退院支援について、またザンビアでは自宅で亡くなるということは、警察が介入するしかない現状であることから在宅での看取りの仕組みを熱心に尋ねてこられました。

和紙の折り鶴をプレゼントすると、「子どもたちに作ってやりたい」と喜ばれ、ジェスチャーも交え作り方をお伝えしました。



●患者満足運営システム

PTS 推進室・室長 やまだ りえこ 山田 梨恵子

講義では、医療法人真生会の理念である「自利利他の精神」に基づいた患者満足は、どのようにして生み出されるのかについてお話ししました。患者は例外なく、不安や不満を抱えて来院されます。その苦しみは多岐に渡り、大きさ、深さもまちまちです。そのため職員一人一人が、職種を問わず、自分の仕事を通して患者の不安を安心にする、不満を満足にしていけることが大切です。そのために必要な「心」「技」「体」についてもお話をしました。

みなさんととても関心をもって聞いてくださり、質疑応答では、患者からの苦情にはどのように対応しているのか、そもそもフロアマネージャーという職種を配置していることについても多くのご質問がありました。



前列左から4番目が視察団のリーダー、ムワレ・コンシティー氏（ルサカ州保健局長）、右隣が真生会富山病院院長の真鍋恭弘まなべやすひろ医師。

コロナ後の生活について

新型コロナウイルス対策が緩和され、3月13日からは「マスク着用は個人の判断」と国の方針が示されました。コロナ前の生活に戻りつつありますが、感染対策はどこまで必要なのでしょうか。感染対策室 室長でもある刀塚俊起なたづかとしき副院長に聞きました。



質問 1: 4月には新入職員の歓迎会など、コロナ前と同様に開催してよいでしょうか。

回答 1: 新入職員の歓迎会を行ってもかまいませんが、人数をしばって、できるだけ感染管理ができていない飲食店での開催をおすすめします。

質問 2: 県外、海外へ旅行をする際に気を付けることはありますか。

回答 2: 特に県外だから海外だから危険ということはありません。移動にともない多くの人と出会う機会が増えます。なるべく密の状態を避けるという心がけがあればよいと思います。また、外出から帰った際は、手洗い、手指消毒を行うのがよいです。

質問 3: マスクは個人の自由となりますが、手指消毒などした方がよい感染対策はありますか。

回答 3: マスクは、人混みや感染の危険がある場合は、着用するのがよいと思います。義務はなくなり、個人の判断にゆだねられることになりましたが、医療機関ではマスクの着用を推奨されています。

令和5年4月5日(水)より院外処方になります

厚生労働省の医薬分業を実現する取り組みに基づき、令和5年4月5日(水)より外来患者さんへの投薬を院外処方へ移行することになりました。外来患者さんは、院外の保険調剤薬局でお薬をお受け取りいただくことになります。

医療機関で処方せんを出す医師と、お薬を調剤する薬剤師との役割分担を明確化する“医薬分業”を推進し、できる限り患者さんにご不便をおかけせず、より良いサービスの提供に努めてまいります。(※患者さんによって一部、院内で処方させていただく場合もございます。)

院外処方へ変わった際、不安に思われることにお答えいたします。

1 院外処方せんでは、いつ、どこで薬がもらえるんですか。

院外処方せんの有効期限は、発行日を含めて4日間です。期限が切れるともう一度診察を受けていただく必要があります。院外処方せんを取り扱っている調剤薬局であれば、どの薬局でも自由にお選びいただけます。

2 調剤薬局でもらう薬は病院と同じですか？

製薬会社や規格などの違いで、今までと見た目が違うことがあります。基本的には同じです。詳しくは調剤薬局の薬剤師にお尋ねください。



3 調剤薬局のメリットを教えてください。

複数の医療機関からの薬の飲み合わせをチェックしてくれます。また、健康食品やサプリメントとの飲み合わせなども相談でき、きめ細やかな薬の説明を受けることができます。



point

- ・院外処方せんの期限は発行日を含めて**4**日間です。
- ・スマートフォンのアプリなどで事前に処方せんの情報を送信するサービスを利用すると、待ち時間の短縮につながります。